



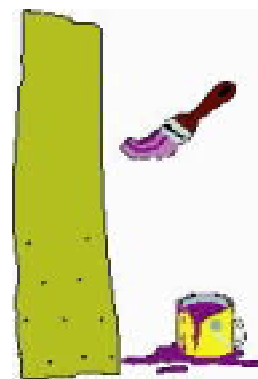
カシノナガキクイムシ被害の予防手法の実証の概要

分布	本州、四国、九州、沖縄
成虫	 <p>雄 雌 実物長(4.5mm) (体長雄4.6mm、雌4.5mm)</p>
加害樹種	ナラ類(ミズナラ、コナラ、ウバメガシ、アラカシ等) シイ類(スダジイ、ツブラジイ等)
被害府県	山形、福島、新潟、富山、石川、福井、岐阜、三重、 滋賀、京都、兵庫、鳥取12府県(平成14年度)
被害形態	 <p>年1回発生。成虫は5月下旬～10月に現れ、最盛期は6～8月。樹皮下に深く穿孔。 地際から2m程度までの高さに集中して削孔する。</p> <p>カシノナガキクイムシの坑道</p>
防除方法	薬剤によるくん蒸駆除

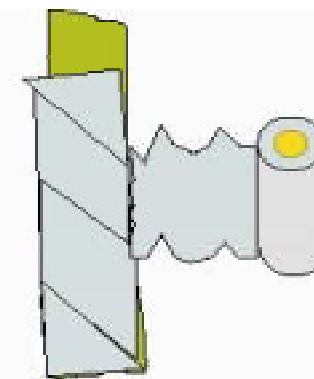
新予防方法

地際より1.5mまでに削孔する性質を利用し

- ・健全木の樹幹に粘着剤に殺虫剤を混ぜて塗布、捕殺
 - ・健全木の樹幹にビニールシートを巻き、カシノナガキクイムシの付着を防止
- することにより、枯損被害を防止する。



殺虫剤を混入した粘着剤を塗布



カシノナガキクイムシの付着を防止するためのビニール巻き